

## 経済社会学会年報XXVII

### ■大会実行委員長挨拶

長谷川啓之…… 3

### ■第40回全国大会共通論題「市場から社会へ—ソーシャル・キャピタルの構築—」

#### ■会長講演 マーシャルと経済社会学会

橋本 明…… 5

#### ■基調講演 市場から社会へ—私のソーシャル・キャピタル論—

宮川 公男…… 10

#### Round Table 1 地域再生とソーシャル・キャピタル

—経済分野におけるソーシャル・キャピタルをめぐる議論—

大野 正美…… 18

#### Round Table 2 社会関係資本の果たす役割—地域社会の経験から—

森田 雅憲…… 20

#### Round Table 3 ビジネス・ネットワーク研究に於いて社会関係資本論が果たす役割

若林 直樹…… 23

#### 総括 社会資本—物的資本から人的資本を経て社会資本へ—

富永 健…… 26

### ■準共通論題（査読付論文）

#### インターネット企業のクラスターにおける協調関係のネットワーク

湯川 犀…… 36

### ■準共通論題（要旨）

#### 経済的不平等とソーシャル・キャピタル

稲葉 陽二…… 49

#### 言語活動におけるソーシャル・キャピタルの役割

佐々木實雄、佐々木泰子…… 52

#### コミュニティ経営開発（CED）、マイクロ・クレジットおよびソーシャル・キャピタル

徳永直也、マイ・ボンゴ…… 54

#### 「ネットワークストア論」試論—クラスター・ネットワークシステムを中心に—

朴 容寛…… 59

#### 中小・個人企業におけるネットワーク化の進展と協同組織

井坂 康志…… 61

### ■自由論題（査読付論文）

#### P.ハーストの「施社型」民主主義論が提起するもの

上沼 正明…… 64

#### 貨幣と人格形成—メディア論的読み解き—

清家 審介…… 73

#### 障害者の「自己決定」とソーシャル・キャピタル—コミュニティ福祉の課題—

田中（斎藤）理恵子…… 84

#### 市場と共同性の経済思想—初期マルクスとハイエクの社会哲学を中心として—

小島 秀信…… 93

#### 「共同性」に関するJ・ハーバマスとJ・S・ナンシーの見解

合田香奈子…… 108

#### トマス・アクィナスにおける正義の動的構造—公共性の展望をめぐって—

佐々木 亘…… 117

#### 赤堀利セクターにおける「公共」概念の変遷と課題—「公助」から「夫助」へ—

有泉はるひ…… 127

#### 中国改革開放路線への思想的軌跡

和田 民子…… 138

#### 福祉実践者たちの協調観—浜沢栄一と大原孫三郎を中心にして—

兼田 麗子…… 151

#### 公的介護保険制度の需要分析—給付形態に関する考察—

張 肇…… 161

#### 情報と信頼—現象学とシステム論の交差から—

廣重 隆史…… 170

#### コミュニケーションの対話—アメリカ労働運動の組織化に寄せて—

今枝 俊哉…… 181

### ■自由論題（要旨）

#### 民の公表性の理念は如何にして可能か？ 近代的自己の道徳性

森田 明彦…… 192

—チャールズ・ティラーの『自己の諸源泉』を中心に—

坂本 達…… 196

#### 歐州憲法条約と神の記載—政治倫理に蘊れるキリスト教の精神

大谷 和海…… 199

#### 経済的意見決定と与件—高校生に対する公民教育の成果と問題点—

# 経済社会学会年報 XXVII

## 共通論題

### 「市場から社会へ—ソーシャル・キャピタルの構築」

2005

経済社会学会編  
現代書館発売

## 編集後記

第40回全国大会にて基調講演をお願い致しました本学会会員・日本大学経済学部教授田中啓一氏が、8月15日御逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

急速、年報編集委員になり、今回は新会長並びに総務理事、開催校プログラム委員長にも出席いただき、会長の研究室にて編集会議を行いました。新任にて多くの不備があつたと存じますが、御叱正をいたくこととともに御寛容のはどを。今後とも経済社会学会会員の皆様にとって重要なメディアとしての役割を歴力ながら支えたいと心を定めております。編集委員の方々の御助力深謝しております（K.K.）。

新編集体制のもと、引き続き編集幹事を続けることになりました。書評関連を担当しましたが、投稿論文等の査読を充実させていくと作業量もなかなか大変になります。会員の皆様のますますの御協力をお願いします（T.O.）。

3年ぶりに年報補佐幹事として、編集作業に参加しました。今回、特に印象に残ったことは、大会報告原稿、投稿原稿などに対する査読に関わる一連の会議でした。査読をお願いする会員の先生方の決定も、もちろん大切で大変な作業でしたが、それ以上に、査読をしていただいた先生方のそれぞれのコメントの内容が、真摯で的確だったことです。改めて感謝したい気持ちです（H.K.）。

初めての編集でかつ時間がないこともあり、かなりバタバタをしてしまいました。今回の体験を生かしつつ、次号はあまりバタバタすることなく作業を進めたいと思っております（M.I.）。

経済社会学会 年報編集委員会  
(東部) 唐澤和義／織田輝哉／菊島 啓／(事務) 石田光規  
(西部) 橋本昭一／大西秀典

## 経済社会学会年報 XXVII 市場から社会へ——ソーシャル・キャピタルの構築——

2006年9月17日 初版第1刷発行

編集者 経済社会学会  
〒227-0013 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部  
電話(078)800-5824  
編集委員長 唐澤和義  
発行者 東條隆進

株式会社 現代書館  
〒107-0072 東京都千代田区麹町3-2-5  
電話(03)3231-1221 FAX(03)3231-2986  
郵便番号 00128-3-83725  
e-mail: pthca@webnewone.jp

出版社  
草野・森本平河工業社

ISBN4-7684-7084-X ISSN 918-3116

## 経済的人格主義

ボランティア社会経済論の視点と方法

現代社会における共同性についての考察—ジャン=リュック・ナンシーの“共同性”を通じて—

芦田 信正……201

宇佐見義尚……204

古市 太郎……207

石戸 充……210

伊東 瑞奈……212

鈴木 純……216

田中 求……219

福永 吉徳……220

下平 好博……223

川西 重忠……225

本柳 亨……229

貧困概念の史的形成とアマルティア・セン

要介護高齢者に対する介護予防サービス提供の諸課題

高齢者対象サービスにおける情報獲得支援と供給形態

社会的企業家の企業家精神について

新聞証券市場の差別化と企業成長

EUの中東拡大とヨーロッパ社会モデル

EUとアジアにおける市場統合

携帯電話による自我形成—「一般化された他者」の個体性と携帯電話—

## ■自由投稿（査読付論文）

N.バーボンの消費論

消費主義と上海の大学生

—消費についての日中大学生の比較調査からの分析を通して—

マクドナルド化と消費者—日本のマクドナルドを事例として—

鈴木 康治……231

貴 金満……239

寺島 拓幸……251

## ■書評

佐々木亘「トマス・アクィナスの人間論」

東條隆進「よい社会とは何か」

安田雪「人間づくりの科学」

大津寛美・吉井晶彦『ロシア・東欧経済論』

坂本進「ヨーロッパ統合とキリスト教—平和と自由の果てしなき道程—」

山田 秀……261

小林 大造……264

渡辺 淳……267

福田 敏浩……269

橋本 昭一……271

## ■全国大会プログラム

■学会会則、役員選出規程、年報編集規程、年報執筆要項

■年報掲載確認書

■編集後記

274

276

279

280